



ADL / IADL 機能訓練 ソリューション

人間のカラダの動きを知り尽くした
セノーの「解決策」をご提案します。



セノーはミズノグループの一員です。

明日もできる、 という幸せ。

朝起きて、顔を洗って、家事をして、
食べて、散歩して、笑って、眠る。
自分のちからで、明日も明後日も。
ちゃんと暮らせる幸せを届けたい、
セノーです。

100年生きるカラダをつくろう。

**カラダ100年
プロジェクト**

人生、100年時代。

100歳まで生きることが普通となる超高齢化時代がはじまる中で、
多くの人が老いに負けず、一生を自分の足で歩き、
自立した日常生活を生涯にわたって送っていきたいと願っています。
セノーの「からだ100年プロジェクト」は、
人間のカラダの動きを知り尽くしたMIZUNO/セノーグループの
スポーツ科学から生み出される独自のメソッドによって、生きるためにカラダを育て、
人々の健康寿命をのばしていくための新しい取り組み。
一人でも多くの人が、生涯にわたり自分の足で歩けるカラダへ。
100歳まで、当たり前のことが当たり前にできるカラダへ。
それを叶えるための解決策を、このプロジェクトから生み出していきます。

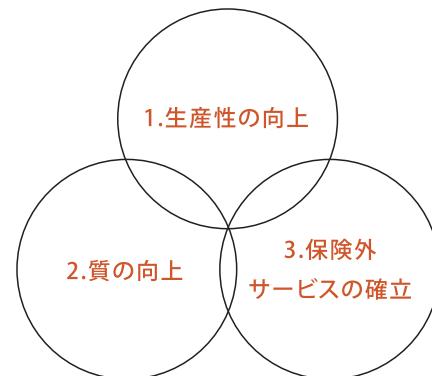


医療介護ビジネスの2040年にむけて

団塊世代が後期高齢者となる2025年には、急速な医療介護サービスニーズの増加が予想されています。さらに2040年には団塊Jr世代が高齢者となり、我が国は高齢化のピークを迎えます。また、医療保険制度においては在院日数の短縮や在宅復帰率の強化、介護保険制度に関しては次期改正(2021年)において、現在の要支援者のみならず要介護1、要介護2対象者への地域支援事業の拡大や、ケアプランの有料化などが議論されており、事業環境はますます厳しくなるものと予想されます。

厳しい環境が予想される

医療介護サービス事業者の将来にむけた対策



1.生産性の向上

厚生労働省の推計によると2025年には介護人材が34万人不足すると言われています。また、厚生労働省老健局は2019年3月に「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン」を作成し、医療介護現場における「生産性向上」を呼びかけました。今後は「職員の増員」で乗り切るという発想を捨て、業務手順の見直しや、最新ツール(ICT化・介護ロボット)の積極的導入などで、より少ない人数(input)でより多くの業務(output)を行う生産性の向上が事業継続のための鍵となります。

2.質の向上

2018年に行われた介護報酬改定では、+0.54%のプラス改定でしたが、処遇改善やその他加算も含めた数値であるため、実質的な基本報酬においては-0.5%のマイナス改定であったと言えます。今後もこのような加算部分での報酬調整が行われる傾向が強くなると予想され、いかに効率的に加算を算定するかが収益確保の課題となります。また、加算の方向性はストラクチャ評価(体制)やプロセス評価(過程)から、アウトカム評価(結果)へのシフトが顕著となっています。今後、2021年本格稼働予定の医療介護のビッグデータをもとに、データをベースにした「結果を出せる」医療介護サービス提供が必須となります。そのために日々のサービスのデータ化を行えるシステムの導入、サービスレベルの把握と改善向上にむけたプラン策定が重要となります。

3.保険外サービスの確立

縮小する事業報酬や人件費の増加により社会保障費を収益源とした事業の経営環境はますます厳しくなることが予想されます。その中で医療介護保険のみに頼らない事業形態にシフトすることは、リスクヘッジとして取り組むべき課題です。市場においては自費リハビリ(90日間約30万円)や高齢者向けの集団体操メニューを充実させた自費のフィットネススクールが人気を集めつつあります。いずれも既存の医療介護事業のノウハウをベースに、制度の変化により新たに生まれたニーズの受け皿としてのサービスや潜在的ニーズを掘り起こすことにより成功を収めています。

上記課題解決の為の幾つかのソリューションを提案します



セノーはミズノグループの一員です。

NuStep ニューステップ

- リハビリ先進国アメリカや日本国内で **ユーザーから圧倒的支持。**
- 安全な姿勢で全身を使った心肺持久力のトレーニングを可能にし、
現場スタッフの負担軽減につながる。



米国高齢者財団より、
97年度に最優秀リハ・トレーニングとして
The 1997 Raymond A.
Cizek ServiceAwardを
受賞しています。



四肢が連動して動くため
運動量が多く、
全身のリハビリが
1台で可能です。
(運動負荷5W~)

背もたれ、肘掛け
回転式シートにより
障害の軽度から
重度な方まで無理なく
使用できます。

コードレスのため
コンパクトで設置場所を
選ばず、リハビリ室だけでなく
病棟などでもお使い
いただけます。



セノーはミズノグループの一員です。

ニューステップ 導入事例

事例 1



転倒などのリスクが少ないので、
利用者様にとってはもちろん、
管理者としても安心して利用いただける。

大西メディカルクリニック 理学療法士/センター長: 石原 和明 様

導入してよかったです?

とても人気が高く5台導入していますが、いつも順番待ちになっています。持久力を向上させたい方に特に人気で、バイクは一人で乗りにくいですが、ニューステップは乗り降りが容易で、気軽に乗れるので、膝が痛い方にはニューステップを案内しています。バイクは脚だけですが、ニューステップは手も運動しているので、全身の持久力UPという意味でも適しています。

事例 2



セルフトレーニングが可能なマシンのため、
疾患を選ばず、若い方から高齢の方まで
全世代の方に利用していただいている。

一般社団法人 巨樹の会 五反田リハビリテーション病院
副院長(理学療法士): 田中 重成 様
リハビリテーション科主任(理学療法士): 波多野 崇 様

導入の経緯は?

ニューステップは背もたれや肘掛けがあるので、障害が軽度な方から重度な方まで、利用者を選ばず安全に使用していただけたという点が魅力的でした。また、片側が屈曲すると反対側が伸展するという動きはリハビリ効果が高く、体幹の強化も行えます。四肢が連動して動くことで運動量も多く全身のリハビリが1台でき、しかも理学療法士に頼らずセルフトレーニングが行えることも導入を決めた要素です。

おすすめのトレーニングプログラムは?

3~5の負荷で15~20分使用していただいている。低負荷でなるべく長時間ご使用いただくことで、狭くなっていく可動域を広げることができます。

導入してよかったです?

一般社団法人巨樹の会では、ニューステップはリハビリの定番機器として多くの病院で採用しています。多くの患者様に、多目的に継続した運動処方を組めるので導入してよかったです。

TRUNK SOLUTION

トランクソリューション

- リハビリ専門スタッフの負担軽減。
- 装着して歩くだけで体幹が鍛えられ、自立歩行を育成する。



専門家がいなくても
わずか1~2分程度で
簡単&スピーディに
装着できます。

腰への負担を軽減して
体幹を強化し、
歩行に必要な下肢を
鍛えることができます。

シンプルな構造で
軽量(約1.2kg)
であるため高齢者でも
無理なく使用できます。



セノーはミズノグループの一員です。

トランクソリューション 導入事例

事例 1



患者さんの喜びの声が大きい。
それが私たちとしてもうれしいことですね。

医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院
教育研修部 PT 部門チーフ / 理学療法士 回復期セラピストマネージャー
認定理学療法士（脳卒中）野口 隆太郎 様

導入の経緯は？

当院には脳卒中で倒れられた後にリハビリに来られる患者さんが多く、ご自身で運動を行うことが難しい方も中にはおられます。リハビリの過程で、重度の患者さんは最初は長下肢装具を使い、次第に短下肢装具へと切り替えるわけですが、重度ともなると切り替えの段階でなかなか股関節や体幹を自らの意志に基づいて動かすことが難しいという患者さんが多いんです。そうした長下肢装具から短下肢装具への移行期、まだ股関節の動きが伴わない方のリハビリに、トランクソリューションはぴったりだと思いました。

PTにとって、3本目、4本目の手が増えたことを実感

リハビリテーションを行う際、まずは背筋の伸びた姿勢を身についていただきます。その際我々は、患者さんが姿勢を維持できるように補助するわけですが、トランクソリューションを装着してもらうことで、背筋の伸びた姿勢を自然に保持できるので、我々は股関節や体幹の動きのアシストをすることができるのです。姿勢を保ちながら自力で歩けるというのは患者さんにとって大きく、その喜びの声は私たちとしてもうれしいものです。骨盤を前傾に保つというのは、すべての患者さんにとって必要です。そのためのリハビリの時期を判断する必要がある PT にとっては、リハビリのための道具の選択肢が増えたという実感があります。

事例 2



歩行時に上肢・体幹が安定すると下肢の動きを妨げないので、トランクソリューションは歩行能力の向上に役立っています。

社会福祉法人 真寿会リハビリセンターあゆみ
訪問リハビリ担当 富田 恭輔 様

導入してよかったです？

体幹サポートはトランクソリューションに任せて、歩行観察をしやすくなり、細かい点のサポートができるようになりました。

どういった使い方をしていますか？

体幹がふらつくため立位保持がうまくできない、動作に制限があるといった方に対して導入し、体幹前屈を防ぐために使用しています。また、歩行器からの独歩を目指している方に対しても使用しており、歩行能力のアップに繋げています。

使用の効果は？

体幹前屈歩行の振り出しが上手くいっていない方に対し使用したところ、体幹が起きて、立位保持がほぼ直立になり、下肢の振り出しが改善され、歩行スピードも早くなりました。

トランクソリューション 導入事例

事例 3



自分自身でトランクソリューションを装着してみると、
インナーマッスルを使って骨盤を前傾させる効果を体感できました。

リハビリ do 脳梗塞リハビリステーション町田

有限会社精美堂

理学療法士 齊藤 次男 様

導入の経緯は?

自分自身で骨盤アライメントの変化という効果を体感できたので、ご利用者様にも良い姿勢を体感して頂けると思ったのがきっかけです。中枢性疾患の方にとっては適正な感覚入力がとても大切になります。トランクソリューションを使用することによって適正な感覚入力を受容しながら動作・運動を行うことができます。その結果として歩行能力や上肢機能の改善に繋がることを期待してリハビリプログラムに取り入れています。

導入の効果は?

麻痺中等度、杖歩行、麻痺側には装具を使用している方に使用しました。麻痺側の下肢の振り出しがスムーズに行かず、骨盤を後傾しながらの振り出し動作となっていました。トランクソリューションを装着後、骨盤前傾位での股関節伸展感覚を体感頂けた結果、麻痺側の振り出しがスムーズになりました。また、胸椎の伸展位保持及び頭部の適正なアライメントも体感して頂けました。その結果、トランクソリューション装着時には7m歩行のタイムが2秒向上しました。

●主な導入施設

- 医療法人社団 輝生会 初台リハビリテーション病院(東京都)
- 東京都リハビリテーション病院(東京都)
- 東京都健康長寿医療センター(東京都)
- 東京都保健医療公社荏原病院(東京都)
- 東京都立広尾病院(東京都)
- 東京都立墨東病院(東京都)
- 東京都立小児総合医療センター(東京都)
- 東京都立多摩総合医療センター(東京都)
- 平成横浜病院(神奈川県)
- からだラボ鍼灸整骨院(徳島県)
- 日総ニフティ(神奈川県)
- すいとびー新横浜／すいとびー金沢八景／すいとびー東戸塚
- 東住吉リハビリセンター(大阪府)
- 社会福祉法人 真寿会リハビリセンターあゆみ(滋賀県)
- リハビリdo 脳梗塞リハビリステーション町田(東京都)

LABORDO LXS ラボード LXS

- 耐久性とメンテナンスに優れた日本製の信頼感。
- 設置場所の自由度が高い**小型コンパクト設計**。
- 小型低床設計で**免荷装置の併用が可能**。



株式会社 日本メディックス
歩行訓練用体重免荷装置
SY-4300



静肃性に優れ、
0.2km/hから0.1km/h
刻みの超低速で
速度調節が可能なため、
歩行リハビリに最適です。

操作パネルは
日本語表記で大きく
見やすく、直感的な操作が
考慮され高齢者でも容易に
使用できます。

歩行面が低く
脚力の無い方、
小柄な方でも簡単に
乗り降りすることができます。



セノーはミズノグループの一員です。

ラボード LXS 導入事例

事例 1



転倒のリスクを感じることのない
安全なところが良いです。

東金町はんだ接骨院
院長 砂金 秀之 様

導入して良かった点は?

普段から利用者様の転倒を心配している為、ほとんどの方に手摺に掴まつていただくようにしています。そうすると、自力での歩行が心配な患者様でも掴まった状態なら20分ほどでも歩くことが可能ですね。また、0.2km/hまで速度が下げられるのも良い点ですね。0.2km/hをずっと使うことはないのですが、脳梗塞で片麻痺の多少残る患者様に対しても安心して利用していました。

どういった使い方をしていますか?

当院では主に四つのパターンで使用しています。一つ目は変形性膝関節症の患者様に対してですね。O脚ではない歩き方や、痛くない歩き方に矯正する運動療法を行う為に使用しています。二つ目は脊柱管狭窄症で間欠性跛行をされている患者様

に対してですね。間欠性跛行をされている方は、自力で外を歩くことは困難なことに加え、補助器を使用して外で歩くことを気にされる方がいらっしゃるので、当院にお越しいただいて10～20分間歩く、という形で利用しています。そして、三つ目がいわゆるスポーツジムのウォーキングマシンと同様の使い方で歩いていただいている。四つ目はランナーズニーなどで走ると痛いという患者様に実際にLXSで走っていただき、痛みの程度と回復の程度を評価するにも利用しています。特に一つ目と二つ目のパターンに関しては、当院で組んだプログラムを行う為にLXSを利用しています。速度に関しては、変形性膝関節症の患者様は2km/hから開始していただいて、慣れてきたら3.3km/h程の速度でご利用していただいている。脂肪燃焼を目的としている患者様は4.5km/h程ですね。ですので、総じて4km/h未満でご利用していただいている。

事例 2



安定した低速歩行で歩行機能の改善に効果があります。

フィットネススクール ロコモK.O 長府店
店長 藤達也 様 / トレーナー 須田 宏 様

導入して良かった点は?

当ラボード LXS は 0.2km/h からの低速で使えるのは非常に役立っています。一人でちゃんと歩けない方に対し、有人店舗で低速での歩行動作を指導した後、無人店舗で継続していただけたことで「本当に悪かったの?」と思うくらい改善されたこともありました。速くなるとできないような動きの確認、指導、実践が低速機能のために行いややすくなります。

ラボード LXS 導入事例

事例 3



操作がシンプルで相変わらず使いやすく、わかりやすい。ボディリペアIIと合わせて下肢系なので人気があります。

医療社団法人 恵正会
にのみやシニア・フィットネス
所長 松村 さゆり様



事例 4



免荷装置とトレッドミルを併用することで
介護度を下げる取り組みができるのが
良い点です。

リハビリティサービスわたぼうし
理学療法士 大畠 豊 様

免荷装置とトレッドミルを導入した経緯は？

リハビリ機器を選定するにあたって、介護度の高い方も受け入れることを踏まえ、免荷装置とトレッドミルを導入することにしました。その結果、車椅子をご利用になっている介護度の高い方でもリハビリが可能になりました。

導入して良かった点は？

免荷装置ですが、早期に装置を使い、起立することで、低血圧を抑制できることです。また、免荷した状態で歩行が出来るようになると、トレッドミルを使った歩行訓練が可能になることも良い点です。

ラボードLXSは、最低時速0.2km/hから始まり、0.1km/h刻みで調整ができます。そのため、リハビリの中で、PTが刻一刻と変化する利用者の状態を診ながら、細かくスピードのコントロールが出来るので使いやすいです。

また、免荷装置とトレッドミルの併用により、介護度を下げる取り組みができることも良い点です。血液疾患、リュウマチやパーキンソン病の方は体重が掛かり過ぎたり、負荷が強過ぎたりすると、逆に状態が悪くなったりするので、その際には免荷出来たり、負荷をコントロールできるので効果を出しやすい要因となっています。

Body Repair II

ボディリペアII

●複数台でも設置場所をとらないコンパクトなラインナップ。

●電磁負荷方式でウェイトマシンより安全性が高いため、

現場スタッフの負担軽減につながる。

●日常生活に則したリハビリトレーニングの実現。



Body Répair II



可動域を意識しながら
ストレッチ感覚で
効率よい運動が
が可能です。

電磁負荷方式のため、
筋肉痛が起こりにくく、
トレーニングを1台で
行うことができます。

アームが左右連動して
反対方向に動くため、
身体全体の協調運動が
容易にできます。
(相補複合動作)



セノーはミズノグループの一員です。

ボディリペアII 導入事例

事例 1



日常生活動作の改善が、QOLの向上につながるという発想は、施設のコンセプトに合っています。

医療社団法人 惠正会 にのみやシニア・フィットネス
所長 松村 さゆり様

導入の経緯は？

以前は重度者を対象とした通所事業所として運営していましたが、2016年2月のリニューアルに伴い軽度者・一般者を対象にした事業所に位置づけられることになりました。対象が変わり、それまでの身体介助や生活支援を中心としたものではなく、運動に特化した施設としてスタートすることになったわけです。開設準備のために、他の施設がどのようなマシンを導入しているのか知ろうと思い、いろいろ見学したのですが、そのときにセノーのマシンをよく見かけたり、セノーの良さを聞くことが多かったんですよ。そして、ボディリペアIIを紹介していただき、このマシンなら「低下した身体能力を向上させる」という運動ができることがわかり、導入を検討することになりました。

ボディリペアIIを選んだ理由は、高い安全性と使いやすさです。

ボディリペアIIを検討するときに最もチェックしたのは安全性です。当施設はシニアが対象ですので、筋肉痛などのリスクはできるだけ軽減しなければいけません。その点、ボディリペアIIは、最初は負荷をかけない1~3分の運動から始まり、その後の評価に基づいて、一人ひとりに合わせた負荷量を設定するので筋肉痛になりにくく、シニアにとって使いやすいマシンですね。初めての方に、そのことを説明するのですが、皆さん安心してくださいます。何より、可動域を広げたり、身体能力を上げることで日常生活動作が改善していくというところが当施設のコンセプトに合っていると思います。

事例 2



曲線的な動きで
多関節を鍛えることができる
(複合関節運動ができる)マシン。

大西メディカルクリニック 理学療法士/センター長: 石原 和明 様

ボディリペアII導入してよかつた点は？

腰痛がある方で、なかなか自分で動かせない人にはクロスコアリンクを勧めています。あまり負荷がかからずに、腰を動かすことができて、可動域が広がり、腰痛が軽減されたという効果がありました。腰痛があると診断された人で、先生からの運動制限があまりない方に関しては、積極的にクロスコアリンクを使用してもらっています。クロスコアリンクは水平に動くようにされているところが良いです。寝返りの練習だと痛がる方も、クロスコアリンクなら、自分の動きで、無理なくできるからです。

ショルダーリンクについては、座面を固定して使用してもらっています。回旋運動もあるため、座面を固定しないで運動することができますが、転倒リスクを回避するためにも、座面は固定して使っています。

●主な導入施設

●一般社団法人巨樹の会下関リハビリテーション病院 いきいき健康館(山口県) ●ソラスト小平店(東京都) ●通所リハビリテーションステップ(広島県) ●通所リハビリテーション野の花(広島県) ●株式会社ケアプランニング(各店) ●医療社団法人 惠正会 にのみやフィットネス (広島県) ●大西メディカルクリニック(兵庫県) 整形クリニック、デイケア、デイサービスにて運動機能維持、向上を目的として、全国のクリニックまたは介護施設で数多くご採用、ご愛顧をいただいております。

CORDLESS BIKE

コードレスバイク

- 耐久性に優れ、コードレスで設置場所を選ばない。
- 高精度のイヤーセンサーで正確な脈拍管理を行える。



最低負荷が10wと軽く
低体力ユーザーでも
無理なくトレーニングを
行えます。(最大250w)

定脈拍数プログラム
によって高齢者でも無理なく
リハビリトレーニングが
可能です。

リカンベントタイプは
足元が大きく空いた
ウォークスルータイプの
ため、簡単に乗り降り
することができます。



セノーはミズノグループの一員です。

コードレスバイク 導入事例

事例 1



運動療法を通じて患者様の痛み改善が
図れるようにサポートしていきたい。

清泉クリニック整形外科 理学診療部 部長

藤本 大介 様

機器の選定基準は?

正確で信頼性がある脈拍を手軽にとれるため、定脈拍数プログラムを運動处方に取り入れることができます。

来院する患者様、治療について

高齢者の方は身体に抱える痛みを解消したいという目的で来院する方が大半なので、運動療法や手技で痛みの軽減・解消をしていけるように患者さん個々にプログラムを組んでいます。近年では、運動による疼痛抑制であるExercise

induced hypoalgesia(EIH)の報告が多くなっています。そのため、当院では運動療法は痛みの再発予防だけではなく、患者さんの痛みそのものを改善する治療として行っています。シニアの患者さんへはまず筋力テストを行っていただき、自分の体重を支えられない程の筋力だった場合は、自重を利用したトレーニングはせずに、自重が負荷としてからないバイクやニューステップを利用して全身的な持久力・体力を向上させていくトレーニングを行っています。また、猫背の方で筋肉が硬くなってしまっていて、血流が悪い状態になっている場合は、全身の血流を改善する目的でバイクやニューステップを使った有酸素運動プログラムを取り入れています。



コンパクトで使い方も簡単な為、ありがたい。

フィットネススクール ロコモK.O 長府店

店長 藤 達也 様

トレーナー 須田 宏 様

導入してよかつた点は?

脂肪燃焼の有酸素ゾーンがわかりやすいです。他のバイクだとただしんどい運動をして汗を流してやつた気になる、ということも少なくないですが「定脈拍数プログラムを用いたトレーニング」を行えば効果的な有酸素運動が可能になる為です。V77iの体力測定機能も使えば有酸素⇨無酸素の範囲も数値で確認できるのでなお良いですね。

Moto tiles モタイル

- ステップを踏んで転倒防止。

福祉大国・デンマーク発「考える×運動」のエクサゲーム。

- タイルは充電式で、場所を選ばず持ち運べてセットアップも簡単。

WINNER
Product Innovation of the Year
Moto Tiles
ELDERCARE INNOVATION AWARDS 2018
第6回アジア太平洋高齢者ケア
イノベーションアワード2018
『プロダクトイノベーション・
オブ・ザ・イヤー 部門最優秀賞受賞

WINNER
Innovation of the Year
- Dementia Solution
Moto Tiles
ELDERCARE INNOVATION AWARDS 2019
第7回アジア太平洋高齢者ケア
イノベーションアワード2019
『イノベーション・オブ・ザ・イヤー
認知症ソリューション』
部門最優秀賞受賞

Brain Science

Brain Scienceマーク取得
※Brain Scienceマークは
株式会社日立製作所の登録商標です。

運動機能
「動的バランス」「下肢筋力」
×
認知機能
「注意力」「空間認知」「判断」
を同時にトレーニング
『転倒防止』へ

『いつでも』
セットアップが簡単!
『どこでも』
充電式なので持ち運び自由!
『だれでも』
子どもから高齢者まで!

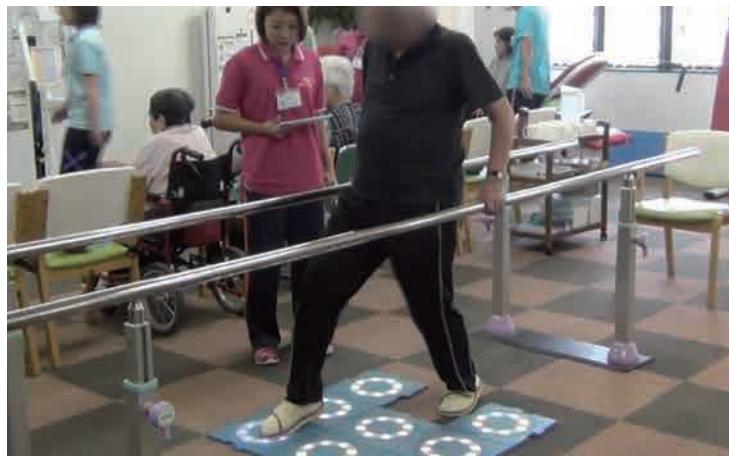
エクササイズ結果を
タブレットに自動的に記録。

Senoh **MIZUNO**

セノーはミズノグループの一員です。

事例

半日タイプのリハビリ特化型デイサービス



「リズムに合わせてリハビリ運動を行う。
当施設のコンセプトに合致するリハビリツールです。」

株式会社いきいきライフ阪急阪神（はんしんいきいきデイサービス）

常務取締役 三浦 智 様

利用者がリハビリ運動を「楽しい」と感じられるという利点
マシン類を使ったあとの仕上げ用にと導入しました。簡単に使えて、その上楽しくて、利用者の方も笑顔になる、リハビリツールとして非常に優れていると思います。実際、利用者の方からも「楽しかった」という声がよく聞かれます。「どこが光るか事前にわからないから新鮮」、「これまでより足がスムーズに出た」、「疲れない」といった感想もいただきました。当デイサービスのコンセプトのひとつに「信頼性の高い機器を使用し、リズムに合わせてリハビリ運動を行う」というものがあって、これはまさにコンセプトに合致したツールです。コスト面で考えても、何種類もの判断＆運動ができるので、1種類当たりの単価はとても安いと思います。持ち運びができるということでは、当方は各地域でデイサービスを展開していて、近くの施設との共有もできる。そう考えるとさらにコストパフォーマンスの高いツールといえますね。（三浦様）

視覚的に「楽しさ」を醸し出す そんな新しいリハビリツール

利用者の方からは「色がきれい」という意見もありました。こうした視覚的に訴えられるという点が新しいし、楽しめるポイントなのだと思います。こうしたリハビリツールで視覚的に訴えるものというのは、あまり見かけません。そういう意味でこれはタイルを踏んでライトを消したり、音を鳴らしたり、まるでゲームを楽しむように運動できますよね。設定やスタートなどがタブレットから操作できて、介助する側にとっても使いやすいです。（宮崎様）

楽しかったという声がとても多く聞かれて、導入して良かったと思います。「他のリハビリツールよりも身体を使えるのでは楽しい」とおっしゃっていた利用者の方もいらっしゃいました。個人的な感想としては、人に合わせて踏み込む感度が変えられると、もっと良くなるかなと思いました。（田中様）

Supreme Vision L

スープリームビジョン L

- 見る力を鍛えることで**日常生活の向上に。**
- 「認知」「判断」「動作」を養う**目と手の協調性トレーニング。**
- 利用者同士ゲーム感覚で**自発的リハビリ**ができる。



周辺視野・瞬間視野・
動体視力などを目と手の
協調性トレーニングで
養うことができます。

ボードの高さが調節可能で
車椅子の方も使用できます。

プログラムと
パターンを選び、
『スタート』するだけで、
簡単にトレーニングが
開始できます。



セノーはミズノグループの一員です。

スープリュームビジョンL 導入事例

事例



職員が付きつ切りで見ていくなくても使える。
シンプル・簡単な機能のため、
ご利用者様が自由に使っていただけるのは良いと思います。

医療社団法人 恵正会 中岡内科デイケアそよかぜ

所長代理 戸松 洋輔 様

導入の経緯は？

結果が数字として表示されるので、モニタリングしやすい点が決め手でした。業界として、これからは「何をしたか」ではなく「何ができるようになったか」というアウトプットが求められる時代になります。そのうえで、こちらが数値化（評価）する必要なく結果が出るというのはありがたいと感じました。

スタッフとしてみたスープリュームビジョンの 感想をお聞かせください。

ゲーム性が高く簡単に使っていただけるのは非常に良い点だと思います。朝来たら2,3回やるのが習慣になっている方もいらっしゃいます。（スタッフも含めて）。

また、施設見学にきたお客様にも強いインパクトを与えるので、新規顧客の獲得に貢献してくれています。一度使っていただくとほとんどの方が喜ばれますし、効果の説明もするととても納得していただけ、そこから通っていただけることになることが増えました。

ご利用者様のお声はありますか？

女性の方は周りに「あんたもやってみんさい！」と声を掛け合いながら、ワイワイ使われることが多いです。男性は逆にお一人でされる方が多いですね。

腕が遠くまで伸ばせない方でも、ボタンの点灯範囲を狭くしてあげると「これならできる！」と喜んでお使いいただけています。とにかく今は、楽しみながら使っていただいている。

スープリュームビジョンでのトレーニングを行うことで 日常生活に変化があったというお声はありますか？

1日に行う様々なプログラムの1つとして運用しているので、明確に「この器具のおかげでできることが増えた」と判断するのは、正直なところ難しいですが、私たちがこの器具を最も評価している点は「結果の数値化」なので、「測定器具」として使っていく意識が強いですね。

今後の運用についてどうお考えですか？

今は1つのプログラムでしか利用はしておらず、遊び感覚で運用していますが、今後は正式なモニタリングを始めていこうと検討しています。また流れていく数字を暗記するプログラムなど、他の機能も活用していく予定です。



●主な導入施設

●医療法人城南ヘルスケアグループ熊本南部広域病院（熊本県） ●浦島メディカルクリニック（静岡県） ●医療社団法人 恵正会 中岡内科デイケアそよかぜ（広島県）
その他全国の病院、クリニック、各種スポーツクラブ、公共施設でご採用、ご愛顧をいただいております。



セノーはミズノグループの一員です。

セノー株式会社

〒270-2214 千葉県松戸市松飛台250番地
電話(047)385-9110 FAX(047)385-9177